

テーマ

15の春に豊かな花を咲かせるための協働

目標

地域と学校園の相互理解と信頼関係に基づく“地域の学校づくり”への協働意識の広がり

今年度の取組紹介

①SAKURA夢フェスタV

恒例となったSAKURA夢フェスタも5回目となりました。本年度は、マリンバの演奏や英語劇が行われ、ブースには各校区からの出店に加え、地元企業も出店するなど、地域への広がりを見せています。午後からの地域対抗・部活対抗の綱引きも盛り上がりを見せました。



③SAKURA夢スクール

本年度も、英会話・編み物・アメリカンフラワーなど多数の講座が開催され、地域からたくさんの人たちが学校を訪れ、交流を深めました。また、南部公民館と共催でSAKURA夢スクール（クラフト教室）を開催しました。英会話の講座の受講生がSAKURA夢フェスタで英語劇を披露するなど、中学生と受講生との交流が深まりました。



②カレー都南（カレーとナン）

本年度は、カレー用のナンを地域の福祉作業所『こっから』に作っていただくなど連携を深め、地域のブランド产品として、SAKURA夢フェスタのみならず、奈良市教育フォーラム・交流のつどいなど、多くの機会に出店することができました。



④放課後自習室

地域の学習支援ボランティアが中心となり、放課後の中学生の自習活動の支援を行っています。活動が定着し、放課後自習室に参加する生徒が増えつつあります。



今年度のまとめ

本年度は、今まで作り上げてきたSAKURAネットワークの活動を、より地域に広げ深化させるとともに、地域人材と中学生との交流をさらに深める活動を意識して取り組みました。SAKURA夢フェスタへの企業の出店・カレー都南を通じての『こっから』との連携・地域にある南部公民館との共催事業など、地域との連携が進みました。また、SAKURA夢フェスタやカレー都南など準備や販売を通じて地域と子ども達との関わりも増えると同時に、積極的に子ども達が活動したり、素直な気持ちで話ができたりと、子ども達の新しい一面を発見することもできました。

来年度に向けて

来年度は、地域の施設・人材・企業等が、どのようにすればより効果的に学校の活動に参画できるかを考え、地域と子ども達が一緒に行う活動をさらに発展・継続させるとともに、企画・運営の段階から児童生徒が参画できるような取組を進めていきたいと考えています。

テーマ

地域に開き、地域と共につくる学校

目標

生徒・教師・地域の協働の推進による、地域保護者から信頼される開かれた学校づくりの推進

今年度の取組紹介

地域教育協議会（SAKURAネットワーク）の活動に積極的に生徒や教職員が参画できるよう役割分担（共に計画・実践し協働することにより、地域の一員としての自覚を持つ生徒の育成）制を導入しました。

【コーディネーターとの連携による合同作業】

① 地域の方が寄付してくれた菊の苗を、コーディネーターと地域のボランティアの方と生徒達が協働で育て上げました。役割分担して育て、大輪の花を咲かせました。菊の花は都南中学校の玄関に飾ると共に教育フォーラム時のカレー都南出店にあわせて、会場となった「はぐくみセンター」を彩りました。



② さびや汚れで傷んでいた自転車置き場のペンキ塗りを、環境整備支援事業のコーディネーターの方々と地域のボランティアと生徒会（美化委員会や有志）のメンバーと一緒に実施しました。準備から後片付けまでコーディネーターや地域のボランティアの指導をうけ、一生懸命作業をしたおかげで、自転車置き場は見違えるほどきれいになりました。

途中、部活動を終えた生徒達が自主的に参加するなど、和やかな雰囲気の中で共同作業に取り組むことができました。また、活動を通じてお互いの理解が深まり、生徒の承認や感謝の気持ちを醸成する活動として有意義なものとなりました。



今年度のまとめ

【今年度の活動の特徴】

本年度は、地域と学校が連携・協働して、生徒達の活動を支援してきました。一緒に活動することで、無意識のうちに会話も弾み、お互いの理解が進みました。活動を通じて、生徒達の中に地域の一員としての自覚が芽生えたと共に、自分たちの活動を学校の教職員のみならず、地域の方に認めてもらうことで達成感や充実感を感じることができました。

また、上記以外でも、農園作業・収穫、校区内各地域への奉仕活動（クリーンキャンペーン）等の活動や地域の防災訓練への参加等を通じて、地域の一員としての自覚を持てたと思います。

来年度に向けて

来年度は、本年度の活動をさらに深化させ、地域の方々との活動を増やすと共に、生徒自ら企画し、その場面に地域の方々を巻き込んでいくといったより積極的な活動を展開したいと考えています。地域にある学校として、中学生が中心となり地域のコミュニティーを形成していく活動に移行していきたいと考えています。

テーマ

子ども力育成プロジェクト

目標

— 関わり合いを通して豊かな学びを育む —

今年度の取組紹介

「子ども力」とは、未来に向けてやあこがれを持って、その子なりに発揮できる力です。そこで、子どもたちが多くの人と関わり、子どもたちの「熱中する力」「好奇心を抱く力」の育成を進めるための事業を学校と地域が協働し、計画し活動を進めました。地域の方々による校地内の草刈りや剪定、花植え、校舎内のペンキ塗りなどで学校の環境整備は年々進んできています。ここでは、「東市まるごと通学合宿」・「昔遊びの名人さん」の紹介をします。本校では、地域支援事業のボランティアの方々と奈良教育大学の学生ボランティアとの協働で、TNP（東市日本一プロジェクト）を立ち上げ、通学合宿はじめ、放課後子ども教室「まなびーや」の事業を進めています。「通学合宿」は6月16日～21日の1週間、地域の施設に宿泊し、共同で生活や学習を行い、学校に通うというプログラムです。5回目を数える今年のテーマは「発見」で、参加した児童は、買い出しや食事作り、掃除などの日常生活の中でお互いの良いところを見つけ合い、自分への自信を持つことができるようになってきました。



「昔遊びの名人さん」では、1年生の生活科の学習にゲストティーチャーとして地域の方々に来ていただき、竹馬、こま回し、羽根つき、竹とんぼなどの昔遊びを教えてくださいました。3日間で延べ60人もの方が参加してくださり、1年生に昔遊びのコツを教えてくださいました結果、1年生も上手に遊べるようになり、グループに分かれて遊び方を発表することができました。



今年度のまとめ

今年度の事業も東市小学校運営委員会において話し合いを重ね、学校と地域との連携・協働による事業計画を立て実施してきました。様々な事業にたくさんの地域の方々に参加していただきました。

特に「通学合宿」に参加してくださったボランティアの方々には、事前の打ち合わせから熱心に取り組んでいただきました。通学合宿の最終日には、成長した児童といっしょに満足感や達成感を味わうことができました。また、学校環境整備事業では、地域に方々と職員とがいっしょに活動でき、学校の環境の充実が図られたと同時に、地域との一体感を感じることができました。

来年度に向けて

ここまで継続され軌道に乗ってきている事業のさらなる発展を目指していきたいと考えています。そのためには、地域のボランティアの登録数を増やし、支援事業に関わることができるように広報活動やボランティア同士の交流を進めていきたいと思います。

テーマ

今日が楽しくて明日が待ち遠しい学校

目標

学力向上に向けて、豊かな心を育み、規範意識を醸成する。今年度の取組紹介

○児童の安全指導事業（安全見守り活動・校区探険付添）

登下校の見守り活動では、一人で下校している児童に声かけをしたりして、家の近くまで送って下さったり、いつもの児童がまだ下校していないと、学校に連絡して下さったりするボランティアの方もおられました。



○環境整備事業

白菜・大根・ネギなどを地域の方に協力して栽培していただき収穫した野菜で、豚汁を作り、地域活動でふるまいました。また、夏のペンキ塗りでは、遊具のペンキ塗りをし、綺麗になった遊具を使用する児童が増えました。

○学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも「昔の遊び体験」「農機具体験」では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの参加があり、児童に教えて下さいました。

○読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが週一回、朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをして下さり、本好きな児童が増えました。児童の読書力向上へつながりたいです。



○学校行事支援事業

冬の集いでは、地域の伝統行事の千本づき（お餅つき）を披露し、児童に餅つき体験をさせて下さいました。また、運動会やマラソン納会では、応援と共に準備や安全見守り活動をして下さり児童のやる気や根気力のアップに一役買って下さいました。

今年度のまとめ

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。2月のなかまの日、聞き取り活動で知ったボランティアの方の苦勞・思い・願いを、2年生が全校児童に向けて伝えました。この紹介をきっかけに、朝のあいさつ運動など自分たちができることを提案する児童が出てきました。そして、ありがとう集会では、その気持ちをボランティアの方々の代表者に伝え、感謝の気持ちを込めて作ったプレゼントを渡すことができました。活動ボランティアの固定化や高齢化が進んでいる現状があります。個別のつながりによる広がりにはたよるだけではなく、今後は、広報誌などを活用し、広く地域全体に協力いただけるように依頼していき人材確保に努めたいです。

来年度に向けて

運営委員会を中心に、多様化してきた活動内容の整理をし、段取り良く活動ができるようにしたいです。また、人材確保の面では、地域ボランティアネットワーク（仮称）を立ち上げ、学校とボランティア、ボランティア同士の連携を深めていくことが、人材の確保につながると考えます。さらに、活動の前後に、短時間であっても打ち合わせやふりかえりの時間を設定することで、交流の場を持ち活動の活性化を図りたいです。

テーマ

「やさしく、かしこく、力もち」の明治っ子

目標

- みんなで花いっぱい为学校づくり
- コミュニケーションを大切にして豊かな心に確かな学力を
- 朝読や読み聞かせの取組から本好きな子に
- 体育や外遊びの充実から運動好きな子に

今年度の取組紹介

○ みんなで花いっぱいの学校づくり

地域の方々の協力のもと、教職員・児童が主体的に環境整備に関わって取り組み、年間を通して花いっぱいの学校づくりをめざしてきました。PTA・地域の方々には花壇整備だけでなく、校庭の樹木整理、草引きなども協力いただき、学習環境整備に尽力いただきました。

○ コミュニケーションを大切にして豊かな心に確かな学力を

地域の人材を生かして、郷土への愛着と貢献、また高い人権感覚を養う取り組みを進めてきました。地域消防団と連携した防災教育、社会福祉協議会の皆さんの協力による車いす・アイマスク体験学習、盲導犬の活躍を自らお話し下さったHさんなど、地域と共にある学校として子どもたちに豊かな心を育む取り組みを進めてきました。

○ 朝読や読み聞かせの取組から本好きな子に

朝のチャレンジタイムの読書活動に加え、地域の方を講師に迎え、全児童対象の「お話の会」1年生対象の「本の読み聞かせ会」など定期的に年間を通して行ってきました。読書好きの子どもたちを育てるため、それらの機会を増やすとともに、その活動に使用する図書整備も進めていくことができました。

○ 体育や外遊びの充実から運動好きな子に

放課後子ども教室や地域の方々の運営のもと行ったミニ運動会など、地域の方々と共に楽しみながら健康・体力づくりに取り組みました。



今年度のまとめ

地域の方々の協力のもと、目標に沿って、各事業を計画通りほぼ進めていくことが出来ました。地域の方がからは「行事（取り組み）に参加してくれる子どもが増えている」等の声もいただき、取り組み目標に迫る活動ができたと考えています。

来年度に向けて

今年度の積み上げを基に、より一層地域との連携を深め、新たな取り組みの創設、人材発掘に努め、今後も「地域と共に歩む学校」をめざして取り組みを続けたいと考えています。

テーマ

地域とスクラム、学び育つ帯解アクション

目標

地域と連携し、21世紀を自主的・創造的に拓いていく**心身ともにたくましい帯解っ子を育成する。**

今年度の取組紹介

本校区には、学校教育に対して協力的で、児童が地域の宝と考えてくださる方々がたくさんおられます。学習活動の中に聞き取り学習を組み込み、地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域について色々なことを学び、生まれ育った地域に誇りをもてる子どもを育てていきたいと考え取り組んできました。

地域の方との体験・交流学习では、戦争の体験談や車椅子の学習、在日外国人の方の話など、様々な方の苦労や願いを聞き、人としての物の見方や考え方を学びました。1・2年生は、万年青年クラブの方々から色々なコーナーに分かれて昔の遊びを教えて頂き、昔遊びの技を体験しました。また、幼稚園や保育園の園児といっしょに校章の水仙を植え交流も深まりました。毎年、社会福祉協議会のお世話で餅つき大会も開いてもらっています。千本杵で餅をつき、つきたてのお餅をおいしく頂きました。

栽培学習では、野菜・米・花を学級園や借り上げた田で栽培し、作り育てる苦労や収穫の喜びを体験しました。米や野菜を育てるのは、食育教育の一環としての成果がありました。また、一人一鉢運動で花や野菜を育てることで、しっかり観察して生き物を大切に思う心が育ち、豊かな感性を育てるのに大いに役立ちました。



今年度のまとめ

地域の方との様々な体験・交流学习や聞き取りの活動は、児童にとって知見を広げ、地域の人とのつながりを広げ、豊かな感性を育てることにつながりました。また、栽培学習を通して、花や野菜をしっかり観察して大切に思う心が育っています。児童は、収穫することの楽しさ、喜び、うれしさなどを感じています。これらの地域の方との活動に、児童は「親切に教えてくれるのでよくわかるし楽しい。」と答えています。教育活動の様々な場面で、地域の方々に支えられながら児童は育っています。

来年度に向けて

精華小学校と統合するので、両校のよさを生かした取組を進め、地域の中で学び、地域に誇りをもてる児童の育成を目指してまいります。

テーマ

輝け 精華っ子

目 標

基礎学力の充実とさまざまな出会いや体験を通して、仲間を大切にし、地域を愛する豊かな心を育てる

今年度の取組紹介

昨年度は、被災地の復興支援として、陸前高田市からいただいたヒマワリの種を育て、花を咲かせ、その種を陸前高田市に送るという取組を行いました。今年度は、同じようにヒマワリの花を咲かせ種を取り、奈良教育大に持参し、ヒマワリ油にして陸前高田市に送るという取組を行いました。昨年度うまく育たなかった児童も学級園に直播をすることで、立派なヒマワリを咲かせることができることや、被災地復興支援『ひまわり油プロジェクト』に参加することで、自分たちだけでなく多くの人たちとのつながりを実感することができました。この一連の活動には、地域の方にも参加していただき、見守っていただくことができました。



精華の伝統行事である干柿作りを行いました。地域の万年青年クラブの方々にナイフの使い方や柿の皮のむき方を教えていただき、一緒に約5000個の皮をむく作業を行いました。そして、その柿を10個ずつ串に刺して、各教室の窓の外に干し、12月中旬に、精華地区の全戸に子どもの手紙と共に配りました。この活動を通して、地域の方とのつながりを深め、生まれ育った自分の土地を愛する心を養うことができたと思われます。



今年度のまとめ

- ・干し柿作りの仕上げとして、精華校区の全戸に、出来上がった干し柿を子どもの手紙と共に配りました。地域の方から感謝のお手紙をいただくなど、喜んでもらうことができました。
- ・地域の方々にたくさんのことを教えていただく中で、地域のよさに気づき、自然や伝統を大切に守っていかうとする気持ちが強く感じられるようになってきました。

来年度に向けて

来年度は、帯解小との統合校として、さまざまな体験を通して、児童の豊かな心を育てる取組を続けていきたいと考えています。また、行事の一部の企画・立案・運営を児童に任せるなどして、主体性を高め、生きる力を育てる取組も行っていく予定です。

テーマ

地域と共にキラリと輝く東市の星

目標

様々な人とのかかわりを通して、お互いを認め合い、助け合い、思いやる心を育てる

今年度の取組紹介

本園は田畑・森林が広がる自然豊かな住宅混在地域に位置し、園児12名の少人数で家庭的な雰囲気、園生活を送っています。地域在住の講師先生の力を借りて『親子体操』を学期に1回実施し『リトミック遊び』を未就園児と一緒に毎月音楽に合わせて音遊びやリズム遊びをして音楽に親しみ、体を動かす心地良さを味わうことができました。毎月行うことで、歌うことや音階、リズムなどにも興味をもって楽しく表現するようになりました。



年間通して『体操遊び』や『リトミック遊び』で地域の講師先生と触れ合い、親しみをもって話しかけ自分からかかわろうとする姿も見られました。一年間の継続した活動は、運動する喜びや地域の方との温かな触れ合う機会が増え、親も子も心待ちにする楽しい活動になりました。



『親子茶道教室』では、地域の講師先生により日本の伝統文化に触れ、行儀作法や、相手を思いやってお点前することを学びました。初めは畳の上で正座に慣れずそわそわしていましたが、親子でするときには落ち着いて先生の話を聞き、姿勢正しくお点前の練習ができるようになりました。そして、自分で点てたお茶を友達やお家の方におだしして、相手に喜んでいただくおもてなしの心も学びました。親子で茶道の体験をすることで、子どもの成長ぶりを見られ、喜んでいただきました。

今年度のまとめ

年間を通して実施している「未就園児保育」「絵本読み聞かせ」「体操遊び」「リトミック遊び」「親子茶道教室」「美化活動」などは、地域の方の専門性を生かし協力と支援を得て、いろいろなことを教えていただき、生き生きわくわくしながら生活することができました。そして、園児や保護者にとって心に残る大事な事業となりました。未就園児の親子登園を通じて、在園児と一緒に遊び相手を思いやる優しい心や自信となり、園内の活性化や地域の交流の場となりました。今後も地域との連携を定着発展するようにしていきたいです。

来年度に向けて

今年度、実施した取組をさらに工夫し、新しく取り入れた「餅花作り」2年目になる「リトミック遊び」「地域力を生かした環境整備」も好評なので来年度も継続したいと考えています。今後も少人数を生かして地域力を最大限に活用し、地域の幼稚園として期待に応えられるように努めていきたいです。そして、地域や家庭、他校園と連携しながら発展していきたいです。

テーマ

「笑顔がいっぱいみんな大好き明治っ子」

目 標

- ・ 多様な体験や世界遺産学習を通して、豊かな感性を育てる。
- ・ 地域や自分たちを取り巻く様々な人との触れ合いを通して、人間形成の基礎となるコミュニケーション力や生活態度を育てる。
- ・ いろいろな「ひと・もの・こと」とかかわる中で、心の躍動や表現力の向上を目指す。

今年度の取組紹介

奈良の町探検で、興福寺・五重塔付近を散策、五重塔を真下から見た時には、思わず歓声を上げるなど奈良の文化にふれ地域の方々とともに学び合うことができました。また、園児と保護者だけでなく地域未就園児も参加した土曜参観“親子で一緒に踊ろう”では、共に体を動かして遊び、その心地よさやふれあって遊ぶ楽しさを感じることができました。未就園児活動では、情報交換や子育ての励みになるように親子でできる制作・人形劇鑑賞・お話の会等を取り入れ、在園児との交流も計画的に実施し、在園児たちの優しくかかわり思いやりの姿を微笑ましく見守る保護者にも幼稚園教育への理解を深める大切な機会となりました。11月に実施したクラフト教室では、木の感触を楽しみながら「何を作ろうかな」と親子で会話を楽しみながら講師先生と一緒に機械も使用し創造性豊かな作品作りを楽しむことができました。



民生委員の方々と運動会で使用する用具を園児と一緒に作製したり、保護者地域懇親会も開催。年間を通してふれあい活動を計画実施しました。

園内外の環境を見直し、玄関に行事・園生活の写真を貼付したり、草引きや花壇整備等地域の方や保護者とも協力し環境整備に取りくみました。

今年度のまとめ

民生委員・お茶会・お話の会の先生等の方が園児の話し方や振る舞いをやさしく受け止め、温かいまなざしで認めていただき、自分達のことを大切に思ってくれる人たちがいることに気づいて親近感を感じ、園児自らも様々な人にかかわっていこうとする力やコミュニケーションしようとする意欲につながりました。また、玄関に行事・園生活の写真を貼付したことで、写真を見て園児が説明したり「生き生きした表情がよくわかる」「色々な体験をさせてもらっているのがわかる」と興味深く見ていただくことができました。これからもなお園児達の育ちを感じていただける啓発の仕方を工夫していく必要を感じました。

来年度に向けて

地域の方々と事前の話し合いや事業内容理解を深め、より効果的に幼児の育ちへとつながる保育内容を計画したり、小・中学校との結びつきをより深めたり、一体となって子どもの育ちを見守り育てるような連携の在り方を探っていきたいです。

テーマ

一人一人の笑顔が輝く

目標

地域の人々と触れ合い、感じる心を豊かにしていく。
仲間を大切にし、みんなで育ち合う幼稚園づくりに努める。

今年度の取組紹介

<民生さんとの触れ合い>

・地域の方と共に触れ合って遊べるように、前もって相談する機会をもち、廃材を使っておもちゃ作りをする計画をしました。子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら、楽しく繰り返し挑戦できるおもちゃ（クルクルスキップ、ぶんぶんごま、ふうせんおぼけ）を共に考え、材料を準備しました。当日は、地域の方と手を繋いで歌ったり、じゃんけん遊びをして親しみ、おもちゃの作り方をやさしく手を添えて教えて頂き、園児は地域の方のやさしを感じながら、生き生きと遊ぶ姿が見られ、親しみの気持ちを強くしていきました。また2学期の園内作品展には地域の方と手を繋いで自分達の作品を紹介する生き生きとした姿から自信が感じられました。



<千本餅つき>

・園外保育で倭文神社に出掛け、秋まつりの準備や千本餅つきの様子を興味深く見ました。またその後、幼稚園の音楽会で保護者と共に地域にまつわる「千本餅つき」の歌を楽しむ機会を設けたことで、千本餅つきへの期待が強まりました。

・3学期には、地域の方が園で「千本餅つき」をしてくださいました。親子で「よいしょ」と力強い掛け声をかけて応援したり、杵で餅つきの体験をさせていただいたりして、思い出に残る感動体験となりました。



今年度のまとめ

- ・地域の教育力を生かし、地域の方と共に遊び楽しさを共有することができました。園児は、地域の方のやさしさや温かさを感じ、感謝する気持ちが育ってきています。地域の方から協力と支援をいただき、地域の中の幼稚園として園児が地域の方に見守られながら、心を豊かにしていく様子を、保護者や地域の方は安心され、幼稚園教育の啓発となっています。

来年度に向けて

- ・今年度のさまざまな取り組みは、子ども一人一人の笑顔が輝き心に響く体験となり、豊かな心が育まれていきました。来年度も感動体験を積み重ね一人一人が輝けるように、地域と繋がり地域に根ざした園づくりに努めていきたいです。

テーマ

地域とともに 出会い・ふれあい・育ち合い

目標

「豊かな心を持ち 明るく元気でたくましい子どもの育成」を目指して

今年度の取組紹介

『みんなで楽しもう・カプラ遊び』の開催・日曜参観

6月8日（日）に日曜参観を開催し、カプラ遊びのインストラクターの方をお招きし、保護者や地域の方々と一緒にカプラ遊びを楽しみました。少しでも高く積もうと、家族で協力したり、友達と競い合ったりして、みんなで楽しむ場面が多く見られました。壊れても何度も繰り返し取り組むことのできる「魔法の板」と呼ばれているカプラで、それぞれが想像力をはたらかせ、創り上げる喜びを感じる中で、たくさんの人とのふれあいを楽しむことができました。

**花壇整備『花をいっぱい咲かせよう』**

園庭の花壇を幼児と共に整備し、花の種や苗を植え育てました。

また、地域の華道の先生をゲストティーチャーにお招きし、育てた花を使って親子で生け花を楽しみました。それぞれが思い思いに花を生け、できた作品をみんなで見せ合いました。



今年度のまとめ

- 幼児がより多くの人とかかわりを持ち、豊かな感動体験が積み重ねられるよう、保護者の協力のもと、地域の方々の教育力を活かし幅広い活動が展開できるように取り組みを進めることができました。
- どの活動も充実した取り組みとなり、感動体験を積み重ねられる機会や場を、園児にあたえることができました。

来年度に向けて

地域の方々のご指導ご協力を受けながら、地域力を活かした活動を企画・計画し、来年度も継続して取り組んでいきたいと考えています。また、来年度は幼保再編により『こども園』としての取り組みとなりますので、より一層地域の方々とのつながりを大切しながら進めていきたいと思っています。